

厚生科学審議会科学技術部会  
臨床研究の指針に関する専門委員会

看護研究の特性と倫理審査

聖路加看護大学  
教授 堀内成子

母性看護・助産学専攻領域  
修士論文・博士論文内容別分類(1993.4~2002.3)

	妊婦	分娩	産褥	新生児	女性保健
I 対象の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胎本分娩をするか否かの意思決定</li> <li>・分娩経過を記録した作り分け</li> <li>・不妊治療の女性の悩みと取り組み</li> <li>・胎児に不機嫌の出来事があったりして出産を望んだ女性の体験**</li> <li>・ダウン症児の子どもを持つ母親が秋の子どもを妊娠するという体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩進行中の経過観察</li> <li>・自宅で出産するという体験</li> <li>・出産方針における自己決定</li> <li>・女性にとって産後の子どもということ</li> <li>・産後経過観察で入院中のほじめて女性になる夫の気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産後3ヵ月間の成長の観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期産児の母親と看護士の相互作用過程における観察</li> <li>・産後経過観察の入院の準備</li> <li>・産後1ヵ月間の産後経過観察と看護士の関与性および産後経過観察との関連</li> </ul>	
II 実践の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後経過観察に対する訪問援助</li> <li>・産後経過観察の相互化</li> <li>・産後経過観察に対する産後の経過観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩前夜が産後経過観察に及ぼす影響</li> <li>・分娩前夜における母親の体験</li> <li>・産後の経過観察の経過による産後経過観察のモニタリング行為</li> <li>・産後経過観察の分娩前夜から生まれる女性の「産後の経過観察」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後経過観察に関する研究</li> <li>・産後経過観察になっていくこと：少人数参加型産後経過観察クラスを支援したことの観察</li> <li>・産後経過観察の経過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期産児の院内観察のなため観察</li> <li>・産後経過観察における産後経過観察の観察</li> <li>・産後経過観察した母親の不安感と看護士の働きかけとの関係性**</li> <li>・NICUにおける産後経過観察のFamily Centered Careに留意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後経過観察の経過観察</li> <li>・産後経過観察の経過観察</li> <li>・産後経過観察の経過観察</li> </ul>
III 看護者自身の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分娩で働く助産師の働き方</li> <li>・産後経過観察におけるエンパワメントの探求</li> <li>・産後経過観察の探求</li> <li>・産後経過観察への看護に関する教育プログラムの探求**</li> </ul>				

\*：修士論文から引き続き、博士論文において研究を続行中

\*\*：博士論文研究計画書提出（単位取得後退学）

：博士論文（修士課程より引き続き博士課程修了者）

## 母性看護・助産学研究の分類

- 対象の理解 ★
- 実践の創造 ★★
- 看護者自身の課題

◇量的研究デザイン...自然科学系手法

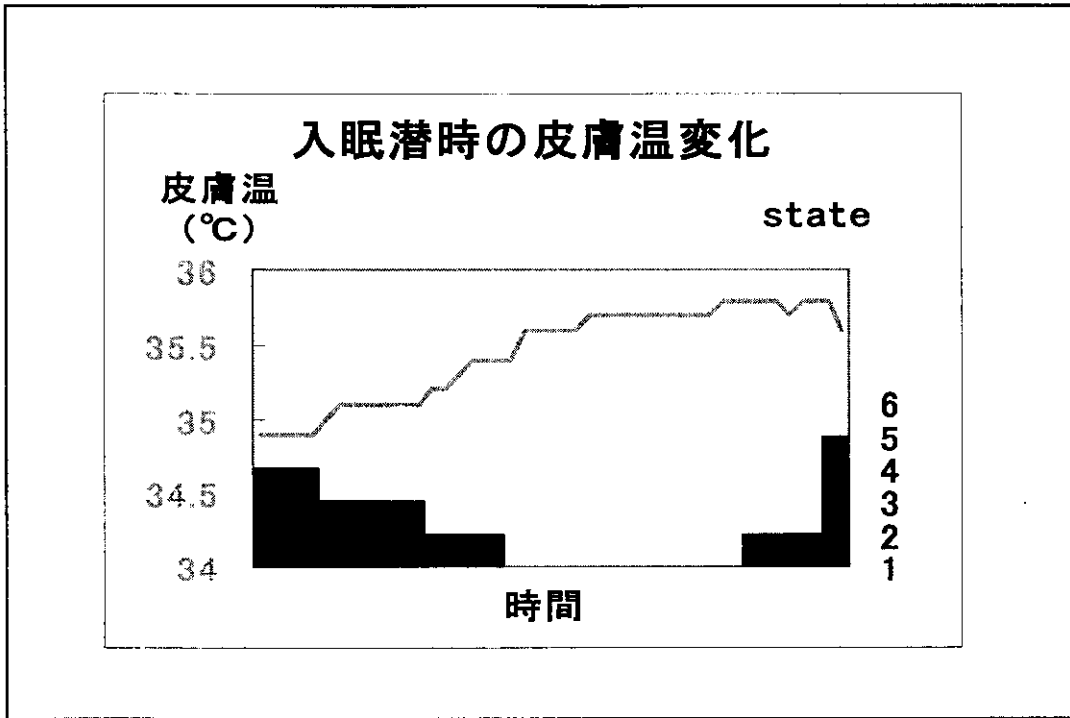
◇質的研究デザイン...人文科学系手法

### 量的研究デザイン: 相関関係検証

生理学的手法・観察

- 「生後6週間の正常新生児の睡眠・覚醒と足底皮膚温」  
(江藤, 1998)
- 授乳サイクルにおける睡眠・覚醒
- 「ぐっすり眠る」眠りにつく時に皮膚温が上昇
- 「なかなか寝ない」皮膚温は下降
- 新生児との暮らしで体験する母親の戸惑いを軽減する  
生理的サイン...積極的な能力の探索、

★対象の理解



### 量的研究デザイン: 介入研究

- 「腰痛のある妊婦に対する足浴の効果」  
(桃井, 1999)
- Controlled Clinical Trial, 準実験研究
 

実験群	: 前	足浴	後
対照群	: 前	通常のケア	後
- 評価項目... 痛み指標、セルフケア... 質問紙による

★★実践の創造

**量的研究デザイン: 介入研究 生理学的手法**

• 「低出生体重児における気管内吸引後の  
境界付腹臥位屈曲姿勢の効果」(近藤、2000)

• Controlled Clinical Trial, 準実験研究

実験群 : 前 境界付腹臥位屈曲姿勢 後

対照群 : 前 通常のケア 後

• 評価項目: ストレスサイン・眠るまでに要する時間

**★★実践の創造**

**量的研究法: ケースシリーズ研究 参加観察**

• 「胎児心拍測定法の相違による助産婦のモニタリ  
ング行為」(島田、1997)

: 人間の行動習性... 聴覚情報と視覚情報

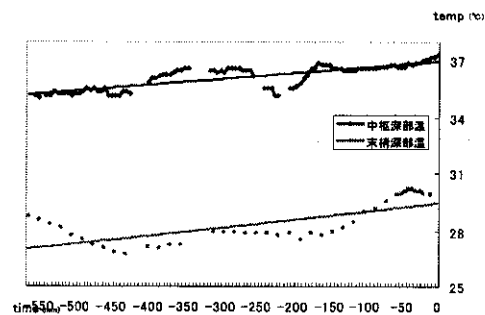
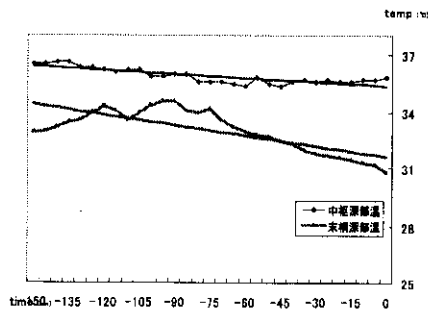
**★★実践の創造**

## 助産婦のモニタリング行為の相違

	情報収集	ケア
間欠的聴診法	手全体で陣痛を測定 希望・主観を聞く	マッサージ 体位変換 枕、安楽の援助
持続的聴診法	モニターを見る 内診を行う	行為の指示

### 量的研究: ケースシリーズ 参加観察

- ・「分娩進行中の体温変動」(岡村, 2001)  
分娩中に産婦を冷やしてはいけない?... 錯覚?



## 質的研究デザイン

現象学的アプローチ

### ★対象の理解

- 「妊娠中、胎児に予想外のできごとがあった中で出産を選んだ女性の体験」(中込, 1999)
- 胎児診断:「脳がぺらぺら」胎児の障害を知る  
生きてほしい思いと葬りたい思いのせめぎあい  
障害とともに生きていくことの困難さ
- 胎児への愛情をとり戻す体験  
鬼か化け物か、から、障害をもってともに生きていく  
自分と、胎児について自問自答を繰り返す  
生きていく中で培った力、障害児の母親という視点の修正

## 質的研究:現象学的手法

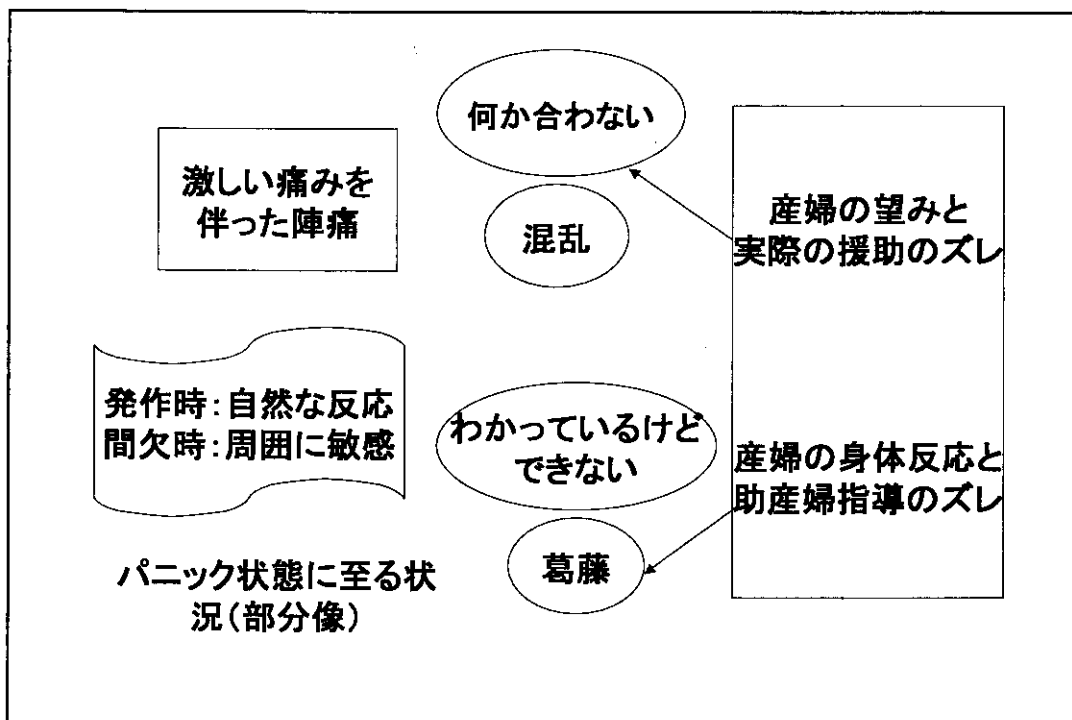
- ダウン症児に続く妊娠・出産を選択した女性の体験  
(辻、2000)...
  - <本来の自分の価値を取り戻す>
  - <普通の育児を体験する>
  - <自分の価値の転換>
  - 「小人数参加型の出産準備クラスに参加した  
男性の父親になっていく体験」(永森, 2002)
  - <夫婦で共有した体験から二人で考える力へ>
- ★対象の理解

質的研究デザイン:シンボリック相互作用  
面接と観察法

- ・「パニック状態になった産婦の出産体験」  
(湊谷・片岡・毛利, 1996)

産婦と助産婦とのズレ、からだと心のズレ

★★実践の創造



**質的研究デザイン: グランデッド・セオリー  
シンボリック相互作用論**

- 「母乳ケアの質」(野口, 1999)
- 「早期産児の母親と看護婦のNICUでの相互作用場面における意味の検討」(木下, 1999)
- 助産婦の分娩期ケアから考える女性の主体的な出産(野口, 2000)

**★★実践の創造**

**聖路加看護大学研究倫理審査委員会**

- 大学の研究者およびその指導により行われる看護学研究は、研究倫理の基本的要件を満たすものでなければならない。
- 研究の対象となる個人の人権の擁護
- 被験者に同意を求める方法(目的・方法・安全性に関する説明を受け、理解し、途中取消しの自由をもちつつ自らの意思で参加)
- 研究によって生じる個人への不利益ならびに危険性と看護上の貢献の予測(介入研究では、通常の看護を保証する)



## 看護研究の倫理審査の特徴

- 「看護者と患者」関係から「研究者と患者」関係へ...脅かさない関係の中での説明と同意
- 自由意志の尊重(研究への参加や参加途中での中止)...参加への圧力を避ける、第3者窓口
- 安全性の確保...研究途中で起こる可能性のある精神的動揺に対して、サポート体制を整える.
- プライバシーの尊重...質的データで特異なものは、公表内容を事前に対象者へ確認、データの保管と破棄の事前説明

